
静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校
カリキュラムポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）

静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校は、ディプロマポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）を踏まえ、開設する授業科目の体系化を図り、整合性を確保した教育課程を編成する。また、各授業科目については、シラバスにより目的、教育内容と方法、学修成果の評価基準を明示し、学生が主体的に学ぶことができる内容とする。

さらに、職業に必要なより実践的な知識・技能を習得するため、各学科コースが目指す職種の関連企業による授業と評価の実施や、各分野において企業委員から意見を聴収する「教育課程編成委員会」を毎年2回以上実施し、カリキュラムの定期的な見直しを行う。

エアライン学科客室乗務員コース
カリキュラムポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）

エアライン客室乗務員コースは、静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校の教育課程の編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）のもと、卒業認定・専門士授与の方針（ディプロマポリシー）に掲げる人材を育成するために、豊かな人間性と語学力、お客様対応力の習得を教育の軸に2年間で知識の習得と実技の基礎から応用までを習得するための講義・実習をバランスよく配置した教育課程を体系的に編成する。

【1年次】

客室乗務員として必要な専門知識および技能の習得を目的とした客室実習Ⅰ、客室英会話Ⅰ、マインド強化のための客室キャリアデザインⅠ、空港地上支援業務に必要なTIM基礎、航空知識Ⅰ、グランドハンドリング概論、さらにホスピタリティの面から手話演習Ⅰなど、座学と実習で学ぶ即戦力となる科目を開設する。また、客室乗務職の採用試験に必須のFA面接、エアライン筆記対策、エアライン英語Ⅰの科目を開設する。

【2年次】

1年次に学習した基礎知識を活かし、更に専門的で応用力を要するイレギュラー対応、スペシャル対応を学ぶ科目としてユニバーサルデザインを開設する。また、多様なお客様への対応と様々な国の価値観を理解する異文化ホスピタリティを開設する。

エアライン科グラウンドスタッフコース

カリキュラムポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）

エアライン科グラウンドスタッフコースは、静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校のエアライン科の教育課程の編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）のもと、卒業認定・専門士授与の方針（ディプロマポリシー）に掲げる人材を育成するために、高い専門性とおもてなしの精神あふれるサービススキルの習得を教育の軸に 2 年間で知識の習得と実技の基礎から応用までを習得するための講義・実習をバランスよく配置した教育課程を体系的に編成する。

【1 年次】

空港地上支援業務に必要な旅客実習 I、航空予約システム演習 I、TIM 基礎、航空知識 I、グラウンドハンドリング概論、さらにホスピタリティの面から手話演習 I など、座学と実習で学ぶ即戦力となる科目を開設する。また、地上職の採用試験に必須の GS 面接、エアライン筆記対策、エアライン英語 I の科目を開設する。

【2 年次】

1 年次に学習した基礎知識を活かし、更に専門的で応用力を要するイレギュラー対応、スペシャル対応を学ぶ科目としてユニバーサルデザインを開設する。また、社会人として必要なマインドと自己表現の育成のための GS キャリアデザイン、更に接遇の幅を広げるための GS 接遇中国語を開設する。

総合観光サービス科

カリキュラムポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）

総合観光サービス科は、静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校のエアライン科の教育課程の編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）のもと、卒業認定・専門士授与の方針（ディプロマポリシー）に掲げる人材を育成するために、「旅を総合的にコーディネートする」という基本目標を持ち、2 年間で知識とスキルの基礎から応用までを習得するための講義・実技をバランスよく配置した教育課程を体系的に編成する。

【1 年次】

国内の観光・旅行の基本知識として、『国内旅行業務取扱管理者』取得に対する「旅行業法・旅行業約款」などのルールや「観光資源・運送機関の料金計算」などを学ぶ科目を開設する。さらには、国内研修におけるプランニング・実地検証や、学外実習・業界研修における添乗業務などの実践科目、地方創生に重要な観光産業の役割について学ぶ科目も開設する。

【2 年次】

1 年次に学習した基礎知識とスキルを活かし、さらに深めていくための科目を応用編として開設する。視野を海外にも向け、渡航に必要な知識として海外観光地理や時差や旅券申請、航空運賃や免税など、知識の幅を広げていく科目も開設する。また、航空予約システムを使用した実習や、本物の募集型や受注型ツアーの企画・提案・実施を通して、スキルの幅を広げる科目も開設する。

ホテル・ブライダル科

カリキュラムポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）

ホテル・ブライダル科は、静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校の教育課程の編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）のもと、卒業認定・専門士授与の方針（ディプロマポリシー）に掲げる人材を育成するために、「プロフェッショナルとしてのマインド育成」を教育の軸に、2 年間で知識とスキルの基礎から応用までを習得するための講義・実技をバランスよく配置した教育課程を体系的に編成する。

【1 年次】

ホテル概論やブライダル概論など、知識として体系的に理解するための科目を開設する。また、料飲・宴会サービス実務やホテル宿泊実務、ブライダル実務など、業界で必要な基本スキルを身に付けるための実践的な科目も開設する。さらには、学生一人ひとりのキャリアデザインのために、今後の業界でのキャリアを見据え、ホテル・ブライダル業界に特化した就職サポートを行う科目も開設する。

【2 年次】

1 年次に学習した基礎知識を活かし、知識・スキルをさらに深めていくための科目を応用編として開設する。また、接客部門だけでなく管理部門やホテルの数字を知ること、ビジネスとしての視点を学ぶマネジメントの科目も開設する。さらには、2 年間の集大成として模擬ブライダルを実施することで実践力を養う科目も開設する。

グローバルビジネス科

カリキュラムポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）

グローバルビジネス科は、静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校の教育課程の編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）のもと、卒業認定・専門士授与の方針（ディプロマポリシー）に掲げる人材を育成するために、「グローバル人材の育成」を教育の柱に、2年間で実践的な語学の運用能力を育成し、異文化に対する深い理解を育むためのインプット教育とアウトプット教育をバランス良く配置した教育課程を体系的に編成する。

【1年次】

「TOEIC Speaking」「Communicative English」「Vocational English」などの科目を通し、世界共通語としての英語の運用能力を磨く。「海外生活・文化研修」のカリキュラムにおける語学留学、また「比較文化研究Ⅰ」で語学のみならず異文化に対する理解を深め視野を広げる。職業観を育むための「ビジネス英語」「国際ビジネス基礎」「カスタマーサービス概論」の科目を開設し職業教育も並行して行う。

【2年次】

1年次に学習した基礎知識に基づき、より高次元での語学の運用能力の養成、職業に応じた専門知識の習得を目指す。「国際ビジネス応用」では国際物流を担う人材の育成のため通関関連実務だけでなく、観光業に携わるための空港・ホテル・観光地等の専門的な内容を英語で表現できる力を身に付ける。

コンシェルジュ科

カリキュラムポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）

コンシェルジュ科は、静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校の教育課程の編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）のもと、卒業認定・専門士授与の方針（ディプロマポリシー）に掲げる人材を育成するために、「おもてなしのスペシャリスト育成」を教育の柱とする。2年間で上質な接客サービスを提供する上で求められる知識とマインド、また提案力を育み、実践の場に於ける気づきの感度育成を目指す講義と実技をバランス良く配

置した教育課程を体系的に編成する。

【1年次】

本学科の根幹であり実務経験者から実践的な講義を行う「コンシェルジュⅠ」、些細な気づきからなる接客に対するマインドを磨く「ゲストサービスⅠ」や「ホスピタリティマインド」、説得力ある提案をする上での知識の裏付けと自信にも成り得る「カラーマーケティング」、また「異文化理解」では異文化に対する理解を深め、提供できるおもてなしの幅を広げる。職業教育分野に関する前述に加え、「表現技法基礎」を開設し豊かな表現力習得も並行して行う。

【2年次】

1年次に学習した基礎知識に基づき、発展教育を行い、それまでの学びを自分自身の発想や企画に落とし込み、様々な視点から学習者自身の見解を共有する授業を開設する。セルフブランディングを確立させることで自分自身の個性を生かした上質なおもてなしの提供力を身につける。

国際ホスピタリティ科

カリキュラムポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）

国際ホスピタリティ科は、静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校の教育課程の編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）のもと、卒業認定・専門士授与の方針（ディプロマポリシー）に掲げる人材を育成するために、「グローバルに活躍できる人材」という基本目標を持ち、3年間で日本語を主とした語学力、ビジネスマナーの知識とビジネススキルの基礎から応用までを習得するための講義・実技をバランスよく配置した教育課程を体系的に編成する。

【1年次】

サービス業をはじめとする職業人を目指す上で必要な日本語能力の向上を図る。これを2・3年次の学習の基礎としていく。

【2年次】

2年次以降は、「エアライン科」「ホテル・ブライダル科」「グローバルビジネス科」の各科の主要な科目を選択履修し、各業界の知識やスキルを体系的に学んでいく。併せて語学、接遇、パソコン等ビジネスの場で必要なスキルも実習・演習等により身に付けていく。

【3年次】

2年次に引き続き、選択した専門分野でのスキル向上を図る。また就職後を見据えて、各自の語学、接遇、パソコンの力をより実践的に使えるように強化していく。